

家庭科学習指導案

平成31年1月28日(月)第5校時 (被服室) 5年1組 指導者

- I 題材** 新1年生に贈るはちまきをつくろう！
II 考察
III 目標及び評価規準
IV 指導計画 ※III・IVについては、指導と評価の計画参照
V 本時の学習

- 1 ねらい 中表に縫ったはちまきの表に返す方法を試した結果について、幅の状態を基に話し合うことを通して、中表にして縫ったものを表に返す際には、縫い目に沿って折り目を付けることで、幅を一定にしやすいくことが分かる。
- 2 準備 見本のはちまき 検討シート
- 3 本時に想定した躍動をする子どもの姿
 1年生にはちまきを贈るために、幅が一定のはちまきをつくることに向けて、見本のはちまきの幅と、試行した中表の返し方による幅との同異を明らかにしながら、他者との関わりの中で、試行した中表の返し方の改善点や、適切な返し方を自ら進んで伝えている。
- 4 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 ・中表にして縫うのも、表に返すのも初めてだから、幅がそろそろ返し方を見つけて、きれいなはちまきをつくりたいな。	○幅が一定のはちまきにする中表の返し方を明らかにするという目的意識をもつことができるように、試す内容や手順、試した方法の評価基準を問いかける。
めあて「幅がそろそろ中表の返し方を見つけ、幅が一定のはちまきをつくれるようになるろう」	
2 自分たちで決めた評価基準を基に、中表の返し方を試して話し合う。 ・縫いしろ線の上をまっすぐ縫ったから、このまま表に返してアイロンをかければ、はちまきの幅はそろそろと思うな。 ・表に返すときに布がしわになるから、幅が細いところできてしまうな。同じ幅にするのは、思っていたより難しいな。 ・友達が試した表に返す前に縫い目に沿ってアイロンをかける方法の方が、折り目が付いていて、表に返した後のアイロンがけがやりやすいな。 ・もう一度中表にして縫い目にアイロンをかけたら、幅をそろえやすくなったよ。 ・3つ折りでなく中表でぬうものは、縫い目にアイロンしてから返すとよいことがわかったよ。他の製作にも使えそうだな。 3 本時のまとめをする。 ・表の返し方が分かったよ。次回の1年生に贈るはちまきは縫うときには、幅をそろえてきれいなはちまきをつくれそうだよ。	○試した返し方を比べることができるように、ペアで中表の返し方を変えることと、同じペースで製作を進めることを助言する。 ①目標とする状態との同異を判断できるように、幅が「一定」・「不定」の2段階の具体的な評価基準を提示する。 ②幅を一定にする中表の返し方を検討できるように、試した方法の判断の理由や適切な返し方を検討シートに記述するよう促す。 ○幅を一定にする中表の返し方を明らかにできるように、話し合った適切な返し方を基に、中表の返し方を再度試すよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 評価項目 はちまきの幅を一定にするには、縫い目に沿って折るとよいことを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①> </div> ○1年生に贈るはちまきをきれいに縫う意欲を高められるように、「自分がしたこと」「分かったこと(できたこと)」「今後取り組みたいこと」を視点に振り返りをするよう促す。

指導と評価の計画（全5時間）

目標	製作に必要な用具を安全に取扱い，ミシンを用いた直線縫いで，来年度入学する新1年生に贈るはちまきを製作する。			
評価 規準	<p>(①知識及び技能)正しいミシンの操作方法や，布の向きを変える角の縫い方が分かり，縫いしろのしるしを正しく付けたり，ミシンを正しく操作したりして，角が直角で幅が一定のはちまきを製作することができる。</p> <p>(②思考力，判断力，表現力等)はちまきの製作の仕方について問いを見いだし，ミシンを用いたはちまきの製作計画を考えている。</p> <p>(③主体的に学習に取り組む態度)布を用いた生活を豊かにするもの製作に関心をもつとともに，来年度入学する新1年生のために進んではちまきを製作しようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
見 つ め る ・ つ か む	1	○はちまきの製作に関わる疑問点や調べたいことを話し合い，課題をつかむ。 課題：「新1年生に贈るために，角が直角で幅が一定のはちまきをつくるには，どのように縫うとよいのだろう」	○新1年生に贈るはちまきの製作に関心をもって疑問点や調べたいことを考えられるように，はちまきの見本や分解標本を用意する。	◇はちまきの製作に関わる疑問点や調べたいことを記述したり，発言したりしている。 <学習プリント・発言③>
	1	○学習計画を立てる。	○角が直角で幅が一定のはちまきを製作する活動の見通しをもてるように，試行する内容や手順，試行した方法の評価基準を話し合う時間を設定する。	◇はちまきを製作するために必要な道具や材料，製作の手順，試行した方法の評価基準について考え，計画を記述している。 <学習プリント②>
追 究 す る	1	○自分のはちまきを製作する。(本時)	○幅が一定のはちまきの縫い方を検討できるように，試した縫い方の改善点や適切な返し方を記述する検討シートを用意する。	◇はちまきの幅を一定にするには，縫い目に沿って折るとよいことを記述したり，発言したりしている。 <学習プリント・発言①>
	1	○新1年生に贈るはちまきを製作する。	○返し口の縫い方を確かめながら仕上げられるように，はちまきの見本や縫い方の段階が分かる資料を用意する。	◇ミシンを安全に正しく操作し，直線縫いをしている。 <活動，布①>
ま ・ と 広 め げ る	1	○互いに作ったはちまきを見合って，製作の感想を話し合う。	○布を用いた生活を豊かにする物を製作する意欲をさらに高められるように，話し合う際の観点として，「製作した物を人に贈るよさ」を提示する。	○製作した物を人に贈るよさを基に，はちまきの製作に込めた思いや，人に贈る物を製作した達成感を記述したり，発言したりしている。 <学習プリント・発言③>